

令和6年度 第2回平塚市地域公共交通活性化協議会

1 日 時

令和7年3月14日（金）10時00分から11時45分まで

2 場 所

平塚市役所519会議室

3 出席者

○ 委員 17人

津田委員、吉田委員、佐藤委員、井上委員、山田委員、松田委員、田中委員、志賀委員、長谷川委員、松下委員、内藤委員、岩崎委員、鈴木委員、小林委員、梶田委員、宿谷委員、中津川委員（代理 村上氏）

○ 事務局

武井まちづくり政策部長、生沼交通政策課長、
交通政策課 海老澤課長代理ほか担当3人、福祉総務課 担当者

○ その他

岡崎地区自治会連絡協議会 会長

4 会議の成立

平塚市地域公共交通活性化協議会規約第6条第2項に基づき、委員の過半数の出席により成立

5 傍聴者

0人

6 議 題

- (1) 平塚市地域公共交通網形成計画に基づく施策取組状況と中間評価について
- (2) 令和6年度平塚市自動運転バス実証実験の結果について

7 課題研究

- (1) 岡崎地区における交通課題と地域協議について
- (2) シャトルバス（大神～市民病院）の再編について

8 報告事項

- (1) かなちゃん手形の制度変更・ICカード化及び完全キャッシュレスバス実証運行について

9 議事録

次ページ以降に記載のとおり

○ 議事録

	<p>（会議冒頭で平塚市地域公共交通活性化協議会委員の委嘱式を実施したのち、会長に梶田委員、副会長に津田委員を選出）</p>
会長	<p>東海大の梶田です。引き続き、本協議会の会長を務めさせていただきます。よろしく申し上げます。新任の委員の方も、ぜひ忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。</p> <p>それでは、議題Ⅰ「平塚市地域公共交通網形成計画に基づく施策取組状況と中間評価」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、御説明させていただきます。</p> <p>令和元年5月に策定した平塚市地域公共交通網形成計画は、令和9年度までの9年間の計画となっており、中間年度となります5年目を目途に必要な応じて中間評価を実施し、施策や目標値の見直しを検討することになっております。</p> <p>中間評価の方向性については、前回8月の活性化協議会におきまして、部分的な見直しと数値の確認ということで、ご承認いただいたところです。</p> <p>（資料Ⅰ、Ⅰ－ⅠからⅠ－Ⅲについて事務局から説明）</p> <p>ご覧の通り評価指標に基づいて評価した結果、全11項目中8項目で目標達成しており順調な進捗状況です。引き続き、未達成の4項目における目標達成に向けて取り組んで参ります。こちらが中間評価となります。</p> <p>また、網形成計画には具体の施策を記載しており、そこには36の施策が載っております。資料Ⅰ－2に、具体施策36項目を掲載していますが、こちらに対しても達成、未達成、一部達成を確認しましたところ、全36項目中、達成、一部達成を合わせますと20項目になりまして、達成率は約56%となっております。</p> <p>次に、施策内容の見直しですが、今回の見直しでは自動運転車両の導入についての記載を追加し、施策メニューとして位置づけたいと考えています。</p> <p>具体的には、(2) ①－2ということで特出しをしまして、これを新たなページとして追加をいたします。本市では令和5年度から、自動運転バスの実証実験を平塚駅南口のエリアで実験をしており、今年も順調に実験を終了したところです。この見直しの機会にしっかりと計画に位置付けて、残りの年度で進めていきたいと考えています。</p>

	<p>最後に、この計画の今後についてですが、令和10年度予定の本計画の改定により、その他の内容を見直していくとともに、地域公共交通計画というものに移行したいと考えています。来年度以降、その準備をしていきたいと思っております。</p> <p>以上、施策の取り組み状況と中間評価についてご案内申し上げました。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございました。平塚市地域公共交通網形成計画に対して、様々な施策の進捗管理による中間評価を行い、基本的に数値目標に基づく達成の有無を判断しているとのことでした。</p> <p>それでは、質問等ありますでしょうか。</p>
委員	<p>今回初めて出席したため、中間評価の前提が十分把握出来ていませんが、本計画は、いわゆるコロナ禍前に策定されたもので、指標については、その途中の数値で見ているものや、直近の数値で見ているものがあると思います。しかし、コロナ禍前の人々の動きと、コロナ禍後の動きがかなり違うと思っています。例えば、テレワークや、Amazonのような買い物に出かけるのではなく、色々なものを届けてもらうサービスの普及があると思います。</p> <p>施設の整備や車両の改善は着々と進めればよいと思いますが、利用者の行動変容がある中で、計画策定当初の目標値を前提にしたまま、計画の終了年次まで達成、未達成を判断し、未達成だったらどのような対応をしていくのでしょうか。基本的なところなので、まずスタートラインとして理解したいのでよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>未達成の項目については、それぞれの交通事業者と一緒に進めるものや、地域の方と進めていくところもありますし、ハード面で難しいものもあります。順次協力をいただきながら、進めていきたいと思っております。</p> <p>項目によって状況は違いますが、しっかりと前を向いて、高みと足元を両方見ながら、一歩ずつ進めていきたいと思っています。</p>
会長	<p>コロナ禍の影響もあり、今回未達成のところは、なかなか難しい状況があるということで、そのような理由も評価に入れることを、検討していただければと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>

委員	<p>おそらく未達成のままになってしまう項目は多々あるかなと思いますが、それが計画として問題だったとか、取り組みが不十分だったという話ではないと思います。</p> <p>私のような市民の立場からすると、未達成だから、当時の計画がいかがなものかという話ではなく、当初想定した以上の社会情勢の変化についても発信し、それでも頑張った旨が伝われば、分かりやすく、もっと市民も協力したいと思えるのではないかと思います。何かの形で今後、議論ができればいいなと思います。</p>
会長	<p>有難うございます。ぜひ市民に発信するときには、考え方や今後どのようにしていくのかを含め、ぜひ前向きになるような形で、積極的に公表等をしていただければと思います。</p> <p>次に、平塚駅北口から東海大学前駅南口に路線バスが開設され、学生さんの利便性がだいぶ向上していると思うのですが、神奈中さんからは何かありますか。</p>
委員	<p>本路線は、元々は東海大学の南門付近のバス停（東海大学バス停）まで行っていた路線を、金目駅バス停の先を右折し、東海大学前駅まで経路変更による路線延伸を行ったものです。</p> <p>12月の利用実績としては、新しく路線バスが運行するようになった堀町～東海大学前駅南口間での利用としては、1日あたり平塚駅方面に約200人のご利用をいただいております。また、東海大学前駅方面には50人程度のご利用いただいております。</p> <p>巻12系統を減便しているため、そこからの利用転換もあると思いますが、少し利用人数が増えたと考えてよいのではと思います。</p>
会長	<p>有難うございます。うまく活用され、学生にもより利用してもらえればと思います。次に、電気バスの導入や、バス待ちスポット及びサイクル&バスライドの整備、平塚駅北口12番バスのりば整列ラインの改善といった、バス利用環境の改善等について、状況や効果について、神奈川中央交通さんとしては如何お考えでしょうか。</p>
委員	<p>まず、弊社ではカーボンニュートラルとして、CO2の削減に取り組んでおります。その中で、平塚市のご協力をいただきながら、電気バスの導入を推進しています。今年度は5台を導入し、累計で7台となっていますが、全て平塚営業所での導入となっています。</p>

	<p>利用者の声としては、体験試乗等を通じて、静かである、揺れが少ないといった好意的な意見が聞かれます。</p> <p>バス待ちスポットについては、平塚市で調整をいただき、バス待ち環境を整えていただいているのは、非常に有難い事例になっていると思います。</p> <p>サイクル&バスライドについては、様々な自治体と協力しながら進めており、自治体で土地を探し、バス停の近くに整備していただき、弊社では看板の設置等による周知を図っています。場所によって、利用の多いところ、少ないところがありますが、少しでも公共交通のネットワークとして、利用促進に繋がればと思っています。</p> <p>平塚駅北口12番バスのりば整列ラインの改善については、従来は平塚駅方向に乗客が並んでおり、雨の日等の利用者が多いときは、階段や平塚駅東改札のあたりにまで列が伸びており、利用者からの意見が寄せられていました。今回、地下道の奥に並ぶように整列ラインを変更してからは、そういったご意見の方は今のところいただいてないとのことで、成功していると考えています。</p> <p>イベントの開催については、弊社の乗務員不足によりご協力出来るところが少ないとは思いますが、極力このような機会を通じて、バスの利用促進に取り組むとともに、バスに触れ合う機会を通じて、バス会社で働きたいという方が少しは増えていただきたいと思います。</p> <p>最後に、バス停上屋の整備については、平塚市から事業者を紹介いただき、交通結節点であるツインシティ大神バス停のほか、コンフォール平塚前バス停で広告事業者による整備をしていただきました。広告事業者の収入に基づき、上屋の建設、維持管理もやっていただけるということで、バス会社にとっては非常に有難い事業スキームであるため、引き続き取り組んでいきたいと思っています。</p>
会長	<p>大阪万博では、自動運転バスの車内がLEDライトできらきら光るようですが、そういうPR効果があるものを造るなど、どんどん取り組んでいただければと思います。</p> <p>それでは、他に何かありますでしょうか。</p>
委員	<p>バス待ちスポットについて、開設により利用者が増えたか、お伺いします。</p>
事務局	<p>利用者の増減についてはお伺いしておらず、公民館や保健センターのロビーを共同で使用しているため、どの方がバスを待っているのか、なかなか判</p>

	<p>別しづらいのですが、施設管理者からの話では、バスの時刻表を見ながらロビーにいる方や、バスを待っている間にトイレを借りたいといった声をいただくとのことで、この3施設のバス待ちスポットはご利用いただいていると考えております。</p> <p>本施設については、路線バスの運行本数が少なく、バスを1本乗り過ごすと、次のバスまで運行間隔が長く、バスをしばらく待つ必要があるところに整備している状況です。</p>
会長	<p>今後は、液晶ディスプレイでバスの接近情報を表示するような計画はありますか。</p>
事務局	<p>液晶ディスプレイを見るというよりも、バスロケーションシステムをお手持ちのスマートフォンで見られますので、それを周知する掲示を行っています。二次元バーコードを読み取っていただければ、あとどのぐらいでバスが到着するか分かるようになっています。</p>
会長	<p>是非そういうものも活用していただいて、よりバスの待ち時間をゆっくり過ごしていただける取り組みを進めていただければと思います。</p> <p>UDタクシーの導入については、状況はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>UDタクシーの車両価格は、普通の車両と比較して少し高いことから、各社ともコロナ禍のために、導入が遅れていたのですが、昨年に国のUDタクシー認定基準が見直され（レベル準1の新設）、比較的安価な車両が入れられるようになりましたので、来年度から若干導入が進んでいくのではないかと思います。</p>
会長	<p>やはりコロナの影響をだいぶ受けたのかなと思いますので、ノンステップバスの導入を含めて、ぜひ進めていただければと思います。他にありますでしょうか。</p>
委員	<p>地域内移送支援の状況について、運転ボランティアで実施している話があり、松原地区については少し担い手が不足しているとのことですが、他の地区について、運転ボランティアさんの確保状況をお伺いしたいと思います。</p>
事務局	<p>他地区の運転ボランティアの確保状況ですが、例えば土屋地区の大庶子分自治会では、現役の自治会長もしくは自治会長を引退された方が、運転者と</p>

<p>会長</p>	<p>して活躍されております。このため、そういった志のある方が、順次増えている状況になっています。</p> <p>その他、カー助ボランティアグループに関しましては、ドライバーが2名、付き添いの方が1名という形で運行をしていますが、活動を広げていく中で今後もボランティアを確保していきたいと意見交換会等で意見が出ていますので、市で何かお手伝いができないかお話をしているところです。</p> <p>それでは、議題1について、委員からの意見があったコロナ影響の確認と等を含めて反映した上で、承認ということではないかと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>(異議なく、承認)</p>
<p>事務局</p>	<p>ご説明した中間評価の内容については、資料1-4のとおり、リーフレットにまとめ、市内の公共施設等に配架するほか、市ウェブサイトで掲載することにより、この網形成計画の進捗を市民の皆様にお知らせしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、議題2「令和6年度平塚市自動運転バス実証実験の結果」について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>(資料2に基づき説明)</p>
<p>会長</p>	<p>それではこの自動運転の実証実験の結果につきまして、何かご質問等ございませんでしょうか。</p> <p>路上駐車車両については、かなりあったということでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>全区間において、特に沿道店舗利用者や、学校の送迎等で駐車する例が多く見受けられた状況です。特に、片側1車線ずつである東西の平塚市道では、路上駐車を自動回避した後に、対向車とすれ違うスペースが足りないため、運転士による走行方法に、自動運転のシステムがどの程度近づけるかが、今後の鍵なのかと思っております。</p>
<p>委員</p>	<p>私も試乗させていただきまして、近いうちに駅の北側もこうなると良いと思いました。一つお聞きしたいのですが、信号連携との関係ってすごく重要</p>

	<p>だと思っているのですが、平塚駅南側エリアは比較的道路網も歩道も含めて、余裕といいますか工夫するスペースがありますが、将来的に平塚駅の北側エリアの道路整備を考える上で、ここだけは信号連携が必要であるという箇所に設置が出来るように、直ぐには対応出来なくても、計画に入れ込んで、実証実験で得られた知見を平塚駅北側エリアに展開出来るよう、今後検討していただければと思います。</p>
事務局	<p>将来的には分かりませんが、現時点では、自動運転バスにつきましてはあくまで平塚駅の南側エリアのみで、しっかりやっっていこうと思っております。</p> <p>また、信号連携については、こうしたインフラについて、誰が管理するのかという課題があり、もし一般の車両もこの信号連携を活用するような状況が生まれれば、国の方で議論というのが進むものと考えています。市として、国の動向をキャッチし、様々な場所へ設置を展開出来るのか考えたいと思います。</p>
会長	<p>自動運転は、インフラ側でどう対応するのかというのがありますが、お金にもはね返ってくるので、このあたりをどう考えていくのか、やっぱり車側だけで出来るのか等、色々検討されると思います。まず安全性が一番大事だと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>GNSSアンテナについて、何か課題はありましたか。</p>
委員	<p>3Dマップに基づき走行しており、GNSSアンテナは補完的に使っているもので、今回それに対して何か課題があったとは聞いておりません。</p>
会長	<p>次に、課題研究「岡崎地区における交通課題と地域協議」について、事務局及び岡崎地区自治会連合連絡協議会 会長様からご説明をお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>本市では、令和3年度から令和5年度にかけまして、市内の全自治会に対しまして、公共交通利用促進と地域内交通の整備に関する手引きについてご説明行いまして、いわゆるコミュニティ交通等の導入に向け、どのように具体的に協議をしていくのか手順についてご紹介をしたところです。</p> <p>このうち岡崎地区におきましては、交通課題を解決するために、市を交えて協議を行う検討組織が設置されまして、今年度については、岡崎地区の中学生以上を対象にしたアンケート調査を実施いたしました。結果及び今後の</p>

<p>岡自連 会長</p>	<p>取り組み方針につきましては、後程ご紹介いたしますが、まずは、岡崎地区自治会連絡協議会から、岡崎地区の状況や、今回の取り組みの検討について簡単にご説明いただければと思います。</p> <p>今日は貴重な時間をいただきましてありがとうございます。簡単に岡崎地区の状況や、今回の取り組みの経緯について説明をさせていただきます。</p> <p>岡崎地区は、平塚市の北部、伊勢原市との境に位置し、生活圏としては伊勢原市に近いかなという感じを持っています。町名は、岡崎、ふじみ野一丁目、ふじみ野二丁目で構成されています。</p> <p>人口は約9000人で、地域の北側には昭和40年代から50年代にかけて分譲された住宅地が広がっており、南側には田園地帯が広がっています。</p> <p>現在、ふじみ野では高齢化率が50%弱ということで平塚市内でも一番高齢化率が高いのではないかなと思いますが、地域内は高低差がある場所が多くて高齢者を中心に買い物や、通院、移動が困難であるというような声が地域の自治会や役員に寄せられているという状況があります。</p> <p>このため令和5年度から、自治会や地区の社協、その他の組織等で構成された岡崎地区地域活動推進会議と、市の交通政策課が一緒になって、岡崎地区の交通課題解決に向けて取り組んでいるという状況でございます。</p> <p>先ほど事務局から話がありましたが、まずは地域の移動に関するニーズ等の把握をするということで、令和6年11月から12月にかけて、岡崎地区の中学生以上を対象に交通課題に関するアンケートを実施しました。</p> <p>アンケートの結果等についてはこの後事務局から説明をしていただきますが、地域からは、バス停が遠い、路線バスを増便して欲しい、大型商業施設が地域にはないため、そこへのアクセスが不便というふうな、交通課題に関する声が様々寄せられているという状況です。</p> <p>運転士不足が深刻化していることもあり、課題のすべてを解決するのは難しいと思いますが、まずは、買い物が便利になるような交通手段が導入できないかと検討しているところです。</p> <p>早期実現に向けて委員の皆さんの知見をお借りするとともに、交通事業者の委員の皆様におかれましては、ぜひ岡崎地区に適した持続可能な交通手段の確保に向けて、ご協力をしていただけたら有難いと思います。そして、岡崎地区の取り組みが、平塚市内で交通課題を抱えている地域における解決のモデルケースになればと思いますので、本日はよろしく願いいたします。</p> <p>(資料3-1について説明)</p> <p>以上がアンケートの結果ですが、コミュニティ交通の導入は、全国各地で</p>
<p>事務局</p>	<p>(資料3-1について説明)</p> <p>以上がアンケートの結果ですが、コミュニティ交通の導入は、全国各地で</p>

	<p>行っておりますけれども経費が非常にかかるっていうのが、課題としてあります。</p> <p>このため、導入したものの持続可能にならないとなってしまうと、本末転倒ですし、また当然のことながら市内の他地区におきましても導入して欲しい意見も上がることが想定されますので、しっかりと需要を把握した上で議論を進めていくことが重要だと思っております。</p> <p>また、先ほど自治会長からもお話がありましたけれども、アンケートではこのほか、買い物先、通院先についてもお伺いしています。病院に関しては、人によって様々な場所に行っているため、これを対象にした交通の導入は厳しいため、買い物について何か導入できないか議論しているところであります。</p> <p>また話が具体化して参りましたら、皆様ともさらに細かい調整を行っていただければと思っておりますので、その際にはよろしく願いいたします。</p>
会長	<p>バスの乗り継ぎは多いのでしょうか。</p>
事務局	<p>地区の中央を東西に通る大句丸島線は、伊勢原方面しか路線バスが運転されておらず、平塚に向かいたい方は周辺のバス停で乗り継がれているようです。</p>
会長	<p>バス停の数は、地区内にそんなに多くないのでしょうか。</p>
事務局	<p>多い少ないというのは、感覚的な問題もあるので難しいですが、ふじみ野地区につきましては、地区に1ヶ所しかバス停がないという問題があります。道路幅員の問題もございますので、なかなか路線バスの乗り入れが対応できず、地区の端の方にお住まいの方は、移動がしづらい状況です。加えて、ふじみ野から他の地域の方のバス停を使おうとしても、高台であるため、高低差のある場所を移動する必要があります。</p>
会長	<p>高低差が移動に影響することは、他の地区もいろいろ出ています。特に高齢者にとっては非常に苦しく大変だと思います。</p> <p>この辺りはなかなかタクシーもつかまりにくいという意見が出ていたのですが、配車自体はなかなか難しいですか。</p>
委員	<p>伊勢原市のタクシー会社は、会社としては1社しかなく、そういった理由もあり、なかなかタクシーがつかまりづらいという状況があると思います。</p>

委員	<p>この地区は高低差があり、高齢の方が多いう地区というふうに伺いました。地域の皆様にとって、日々のお買い物などで、とてもお困りのことかと思えます。こういうことに関して、何か交通手段の導入というものは考えられますか。</p>
事務局	<p>路線バス運転士が不足しているため、路線バスをさらに充実させるのは、今の所は厳しいかなと思っております。また、ふじみ野については道幅が狭いため、大型の車両がさらに入り込むのは制約が発生するかなと思っております。</p> <p>全国的に見ると、タクシー車両を活用した事例が増えてきておりますので、採算等の兼ね合いもありますが、車両の大きさについてはそういったものを基本に、あとは運行形態を具体的にどうするかを地域と議論して、基本的にはなるべく買い物に行くのが便利になるような交通手段が導入できないかなと思えます。</p>
会長	<p>色々と検討されているということですが、ある程度導入の目途は決めてあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>今回のアンケートは、あくまで交通課題という大まかなテーマで設定したものです。このため、出た意見は、皆様おそらく各々のイメージで回答いただいたと思っております。</p> <p>このため、もう少し具体的に運行形態のイメージを提示し、皆様はどういうふうにご利用されますかと追加のアンケート等を実施し、需要について深掘り調査を行いまして、その結果に基づいた交通手段導入の検討を行いたいと思えます。</p> <p>そして、導入したはいいけれども結局は利用が無かったという話では、持続しませんので、試験的な運行を通じて見極めながら、良いものを考えたいと思えます。</p>
会長	<p>地域と連携しながら、良い交通を検討いただければと思えます。運転ボランティアの希望もアンケートすると10%ということで、本当にやりたいのかっていうと、なかなか難しいところもあると思えますが、その辺りも含めて、ぜひ色々調整されながらやっていただければと思えます。</p> <p>続いて課題研究(2)「シャトルバス(大神～市民病院)の再編」について、事務局から説明をお願いします。</p>

事務局	<p>(資料3-2に基づき説明)</p> <p>交通結節点を東西につなぎ、公共施設を導く急行便といったイメージです。</p> <p>運行経費における市の負担が今9割近くに上っているところで、これを路線バス並みの運賃に変えて、市負担を減らしながら運行をしていきたいと考えています。</p> <p>この再編に向けて今年度から取り組んでおり、昨年7月に職員が個々のシャトルバスに乗り、利用者のアンケートを実施しました。</p> <p>さらに、このバス車両を用いて、想定している再編後のルートを試走しまして課題を整理したところでございます。現在、関連する自治会との意見交換をしながらですね、関係各所と協議をしております。このような中で、令和7年の後半には運行ルートを再編したバスを運行できたらなという形で、今、検討を進めているところです。</p>
会長	<p>現在のシャトルバスの料金はいくらでしょうか。これを路線バス並みということになりますと、どれぐらい料金が上がりますか。</p>
事務局	<p>乗車運賃につきまして一律で大人260円です。これを路線バス並みということになりますと、上がる場所と下がる場所があるのですが、路線バスの初乗りが210円ですので、短いところでは210円というところを今イメージしています。長いところだとやっぱり距離によって加算されていきますので、金額について神奈川中央交通さんと協議しているところです。</p>
会長	<p>最後にその他として、神奈川中央交通さんからよろしくお願いします。</p>
委員	<p>まず、かなちゃん手形の制度変更及びICカード化についてご説明いたします。従来は乗車券のかなちゃん手形を購入し、乗車時に都度現金100円を払っていただいていた制度です。</p> <p>こちらを3月10日の販売分から、少しの時期は併用するのですが、ICカードによる乗り放題的な制度に変更を行っています。こちらは、都度現金100円の運賃が必要なくなり今度3ヶ月、6ヶ月、1年券をご購入いただければ、ICカードリーダーにタッチしていただければ乗り放題となります。ただ、深夜運賃の時間体に関しては半額の料金をいただく形です。</p> <p>現行制度に関しては、6月21日から8月31日の販売をもって終了とさせていただきます。なお、従来のかんちゃん手形は販売期間を定めており、い</p>

<p>会長</p> <p>委員</p>	<p>つからいつまで使えるっていう制度だったのですが、新しい制度に関しては、通常の定期券と一緒にような形で、いつから何ヶ月間利用できるといったところで個別に設定ができるような制度となっております。</p> <p>次に、完全キャッシュレスバスの実証運行についてです。実証実験自体はもう終わっていますが、国土交通省でも、完全キャッシュレスを推進しているところがございます。</p> <p>その中で、自動運転バスの実証実験を行ったルートと同じ区間で、右回り左回りと午前と午後でちょっと循環線の形が違うのですが、こちらの系統で完全キャッシュレスの実証実験を行わせていただきました。</p> <p>今後、バスを持続的に運行していくためには、運転士の待遇改善を行い、採用活動を継続していなければならないため、設備投資の部分を少しでも抑える必要があると考えています。</p> <p>現金を取り扱っている以上、新紙幣の対応や、現金の納金など、目に見えないところで発生する費用の方がかかっているため、完全キャッシュレスを目指していくことを考えて実施しています。</p> <p>今回の実証実験を通して、3%程度、もう既に現金のお客様が減っております。それ以外に残った現金については、かなちゃん手形の100円の現金の支払いが大部分が残ったところです。</p> <p>このキャッシュレスバスを推進していくためにも、前段でご説明させていただいたような、かなちゃん手形の制度変更と繋がってくるところでございますので、ご理解いただければと思います。</p> <p>これに関しまして、何かご意見等はございますか。</p> <p>かなちゃん手形の価格について、お伺いたします。キャッシュレス化に伴って、これを推進することは、ご説明からよくわかったのですが、かなちゃん手形は私ども高齢者にとって、通院やお買い物にとってとても便利なもので、私の周りの高齢者にとって、大変に好評をいただいて、皆様に親しまれているものです。</p> <p>価格についてですが、今まで一番お得な1年有効券ですと10,800円お支払いすれば、あとはバスに乗るときに100円お支払いすれば、乗ることができたのですが、今回の制度変更からは、1年利用では54,000円お支払いするという事になったのですね。</p> <p>その場合、今ご説明いただいたように100円は払う必要がないのですが、10,800円から54,000円にアップするということは、私ども年金生活者としては、かなり大きな負担になりますので、制度としてはもう、始まってい</p>
---------------------	---

<p>委員</p>	<p>ることなのですが、将来的には、価格設定も含めて、もう少しご配慮いただけたらと思うのですが、いかがでしょうか。</p> <p>こちらの価格設定に関しまして、1度に多くのお金を必要というところでご迷惑をおかけしているところは、多々ございます。その中で、かなちゃん手形を購入する時に実施したアンケート調査や、利用実績等を含めた中で金額設定をしています。</p> <p>また、昨年度である2023年7月に運賃改定をさせていただいた時も、かなちゃん手形の販売価格は、運賃改定には含まずに金額を据え置いて実施したところでもございます。</p> <p>そういったところのご意見もいただいた中で、今後の制度設計に関しましては社内でもいろいろと議論した中で進めさせていただければと存じます。</p>
<p>会長</p>	<p>1回100円で、どれくらい使っているかというのもあります。また、負担の感覚というのもあります。状況を見ながら、ぜひ検討していただければと思います。</p> <p>それでは全体を通して、何かご意見ご質問、情報提供がございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>市民の立場で、平塚市立地適正化計画の説明会とか、それから平塚駅周辺地区整備構想の説明会とか、色々とお出させていただいて、平塚が今市制100年とかそういう大きな転換期に向けて、前向きにいろんなことを取り組んでいるというのはすごくいいことだと思っています。</p> <p>市民の立場からも、ぜひ多分今回の当初計画に対して、目標達成がどうかっていう粛々とした議論もあるのですが、ちょうど中間の段階で策定された立地適正化計画には、今日の内容にも関わるような、バス停周辺とか地域の拠点でどうするとか、多分いろんな活動の利用目的の施設をコンパクトにと、そういう趣旨だと思います。</p> <p>交通というのは、目的を持った人を運ぶということなので、交通が先にあって、何か土地利用が決まるってということでもないと思うので、立地適正化計画で出されているような色々な施策との連携等をぜひ、様々な場面で紹介していただくと、市民も、それに対して自分たちはどういうことができるのかっていうことを、前向きに考えられると思います。</p> <p>何か後手に回ると、言い訳的な取り組みが最近は見受けられるので、寂しい方向に行かないように、ぜひ、色々な取り組みの計画を連携しながら、何か紹介していただいたり、意見募集していただいたりするといいかんと思っています。よろしく願いいたします。</p>

会長	<p>ぜひ、そういうのも紹介していただきながら、取り組んでいただきたいと思います。先ほどの話に出た、岡崎地区も伊勢原の方に出来る新しい車両基地の関連で、また土地利用も変わってくる可能性もあると思います。</p> <p>そういう連携も、もしかしたらあるかもしれませんので、情報提供も含めてやっていただければと思います。</p> <p>その他、何かありますか。</p>
委員	<p>シャトルバスの再編ということで、田村地区も影響するため、市から自治会に対して、説明していただきました。まだ再編後の運航時刻等は決まっていないとのことでしたが、市の方で色々と気を遣ってくださっていると感じました。</p>
会長	<p>有難うございました。すべての議題を終わりましたので事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>それでは、以上をもちまして、令和6年度第2回平塚市地域公共交通活性化協議会を閉会いたします。次回は8月ごろに開催させていただきたいと考えております。詳細な開催日が決まりましたら改めてご連絡を差し上げたいと思います。本日は長時間にわたり、どうもありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>